

「零細コーヒー輸入業者の苦 労と幸運、そして役割」

2020年第三回森のコーヒー勉強会
2020年2月9日
有限会社アフリカンスクエア
代表取締役 牛尼恭史
<https://www.African-sq.co.jp>

1

有限会社アフリカンスクエア紹介

- 1992年5月1日創業 28年8ヶ月 ケニア紅茶の販売より始める
- 「アフリカのすぐれた商品を生産地から直輸入し日本に紹介」
- アフリカ25ヶ国の生産地より直輸入
- ファッション雑貨・民芸品が中心
- 年商4億-5億円。食品が9000万円。社員数25人+パート
- スタートアップ企業ではないが、コーヒー業者としては超零細。
- 主な食品 紅茶、ドライフルーツ（マンゴー、パイナップル、バナナ、ライチなど、エチオピアの森林はちみつ、マダガスカルチョコレート、コーヒー、パオパブの粉、モリンガ

2

森林コーヒー取り扱いのいきさつ

- ケニア紅茶の卸販売を20年以上 ⇒ コーヒーへの興味
- 「ケニア山の紅茶」

日本ケニア交友会輸入のケニア紅茶の卸販売
現地で無農薬栽培を確認したものを輸入。
奨学金制度などで紅茶生産地との交流、支援

生産者の顔の見える個性のあるコーヒーをさがしていた。
アフリカ理解プロジェクト白鳥くるみさんのアジスアベバのオフィスから始まる。(2011年11月)

3

ベレテ・ゲラ森林コーヒーの特徴 1 味のおいしさ

スペシャルティコーヒーとは違うアピール
客観的な評価を表す点数よりも味の特徴を。

「えぐみのないすっきりした味。さわやか。やわらかい甘み。」
「他のコーヒーは飲めないがこのコーヒーは飲みやすい。」
「ベレテ・ゲラのコーヒーは大変好評です。」
「私どものところは植物療法のスクールもやっており、
いつも植物を大切に暮らしの中に役立てることなどをお伝えしています。」
私も家族もコーヒー好きで、いろいろと探して飲んできましたが、
コーヒーコーヒーせずに、飲んで「植物の癒し」を感じたのは
御社のコーヒーが初めてでした。本当に美味しいです！」

4

ベレテ・ゲラの森林コーヒーの特徴 2 森林保護への貢献

- レインフォレストアライアンス認証（RA認証）を取得し、プレミアム価格で買い取ることで、森林を保護する動機付け
- RA認証より「具体的なストーリー」
- スーパーマーケットなど量販店はともかく、認証の有無で売上にそれほど影響は出ていない。
- 認証マーク使用の条件が厳しい。

5

森林コーヒーの仕入方法の変化

2012年～2016年 コーヒーを輸入している商社から生豆を仕入れ、
独自焙煎、独自パッケージで販売。

輸入元 オロミア森林公社

2017年 オロミアコーヒー農家協同組合ユニオン（OCFCU）より、直輸入。

2018年 オロミア森林公社より直輸入

2019年 JICAプロジェクトが連携を始めたKata Muduga農家協同組合ユニオンより直輸入

6

零細業者にとっての幸運

仕入時

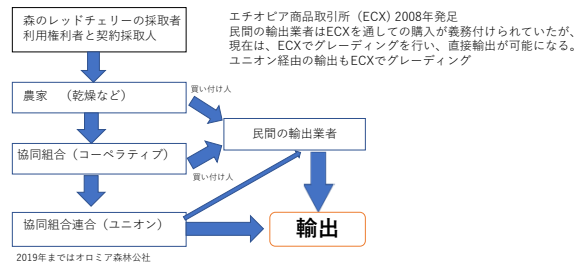
- 情報
- JICA、同業者の厚意
- フレート

販売時 小規模コーヒー店が興味を示す

- 1. 小口納品
- 2. 焙煎によって自分の味を作る
- 3. オリジナリティーというセールスポイント

7

ベレテ・ゲラ森林コーヒーが輸出されるまで



8

コーヒー豆の買い付け価格

- ローカル価格+2-4 birrで農民より買い付け。
- コスト、利益などを計算し輸出価格を決定。
- 輸出後、純利益が決定した後、森林公社とコーペラティブが利益は利益配分
- コーペラティブ分⇒2nd ペイメント
- 森林公社分 ⇒森林の保護に使う。(実際はなにもしていない)
- 2ndペイメントの時期、納入後半年-1年。⇒他に豆をうってしまう原因。

9

森林コーヒーの輸出価格の決まり方

森林公社輸出 (今まで)	生豆 ローカル価格相場	森林公社の経費 RA認証費用含む	純利益	輸出価格
レッドチェリー 相場*			70% 協同組合	30% 公社
ユニオン輸出 (これから)	生豆 ローカル価格相場	協同組合の経費 加工、輸送	純利益	
レッドチェリー 相場*			90% 協同組合	10% 連合

一部を森林管理・モニタリングに使用
RA認証費用
輸出経費

10

ユニオンからの輸出の場合(2020年以降)

- 基本的に自由売買⇒「森林コーヒーへの需要」があれば、価格上昇の可能性。
- 国内消費50% ⇒外国のコーヒー相場の影響を受けにくい
- エチオピアへの投資の増大。コーヒーは数少ない外貨獲得手段なので、コーヒーへの投資も盛ん。
- 森林コーヒーブームが起きれば、価格高騰の可能性も？
- ローカルの状況に影響を受ける複雑な相場といえる。
- 2回払いではなく、1回払いも可能か。
- 現地で即金で購入する民間業者に売る可能性大⇒金融の必要性

11

森のコーヒーの種類

- フォレストコーヒー ほとんど手を入れない(年1回) 50~150kg/ha 遠隔地。生産性が低い。
- セミフォレストコーヒー 年に数回の下草払いなど。村周辺。100-200kg/ha
- ガーデンコーヒー 苗の移植。日陰樹が少ない。栽培管理。400-500kg/ha
- 森林コーヒーの品質が上がるほど、評判がたち、収入を増やせるガーデンコーヒーに移っていくリスク。現実にはガーデンコーヒーが増えている。
- ガーデンコーヒーが森林コーヒーとして売られることも？
- RA認証はガーデンコーヒーを否定するものではない。

12

ベレテ・ゲラの森の現状

- 水洗式の施設がここ1-2年で急増（5年前は5ヶ所程度だったが、現在では約40ヶ所）
- 主な理由は、2017年の規制緩和。森林コーヒーへの需要増？
- レッドチェリーの価格が2倍になる。水洗式コーヒーの増産。
- コーヒー価格の高騰？
- 集落の周辺でガーデンコーヒーが増える。
- 農業省はガーデンコーヒーの増産を奨励
- 森林保護をめざす森林公社や環境省との政策との矛盾

13

遺伝子の多様性を育む森を守るための方策

- ゾーニング
- 規制
- 意識改革
- 「森林コーヒー」だけをブランド化し、付加価値をつけて販売？
- ◆どこまで森を守るのか？ゾーニングによって手つかずの森を一定のこしつつ、他は間伐や藪払いが行われる森でもいいのではないか？したがってコーヒーもセミフォレストでもいいのではないか？（白神山地と里山）

14